

附属図書館利用者の皆様へ

徳島大学附属図書館は、本学の教育改革の一環として教育支援に軸足を置いた図書館へ転換することになりました。そのため、図書館の目指すべき図書館像を「図書館の理念・目標」として明文化しました。また、図書館が自らの理念・目標に則した図書館運営を行っているか、利用者の皆さんに評価していただくことにしました。

以下に、図書館の理念・目標のポイントを説明しますので、どうか、このことを理解した上で有効に図書館を活用していただきますようお願いいたします。

(教育・学修と研究活動を支える)

- ・学生の皆さんには、自ら問題を発見し解を見いだしていく能動的学修（アクティブ・ラーニング）が必要です。そのためのお手伝いを図書館が行うことから、「教育・学修と研究活動を支える」とあるように、敢えて「学修」を明記しました。具体的には、図書館のグループ学習室やグループワークコーナーを使って、ディスカッションやディベートに利用してください。

(学生等利用者の来館型図書館・参加型図書館)

- ・図書館が提供しているサービスには、来館して利用するものと、来館しなくても利用できるものがあります。図書館では、学生の皆さんの主体的な学習のサポートに力点を置くこととしましたので、グループ・ワークやグループ・ディスカッション、授業サポートナビ、スタディ・サポート・スペース（SSS：出前オフィスアワー）等を積極的に利用してください。
- ・図書館では、学生さんとの協働事業としてSSSの外にもビブリオバトル、図書館川柳、サークル活動報告や卒論プレ発表等学生さんが企画、実施したり参加するイベントを積極的に実施し、これらの行事に参画することで社会人に必要な企画・実行力、コミュニケーション力等の涵養に資することとしています。自分に適した立場で、イベントに参画してください。

また、平成26年4月から、図書館の理念・目標を実現するため、図書館において教育支援業務を担当する副館長と副館長をサポートする図書館専門職員を配置しますので、学生の皆さんの積極的な利用と提案をお願いします。

平成26年3月

附属図書館長

徳島大学附属図書館の理念・目標と評価指標

1. 附属図書館の理念

徳島大学附属図書館は、徳島大学の理念・目標を実現するため、徳島大学の教育・学修と研究活動を支える重要な学内組織としての役割を担うとともに社会にも開かれた図書館として、学生等利用者の来館型図書館・参加型図書館を目指します。

2. 附属図書館の目標

- (1) 附属図書館は、学生、教職員及び地域住民のニーズを把握し、質の高い利用者サービスの提供に努めます。
- (2) 附属図書館は、学生の主体的な学習に必要な資料を整備するとともに学習形態に即した利用空間・利用環境の提供に努めます。
- (3) 附属図書館は、徳島大学の教育・研究を支える最新の学術情報資料を整備し、多様な学術情報資源の効率的な収集及び管理を行い、学術情報提供の最適化に努めます。
- (4) 附属図書館は、徳島大学における教育・研究成果を積極的に集積し、発信することにより、学術情報の流通推進と国立大学としての社会的責任（教育研究成果の還元、情報公開）を果たせるよう努めます。
- (5) 附属図書館は、所蔵資料の公開等を通じて、地域社会の文化振興に努めます。

3. 附属図書館の評価

教育・学修支援に軸足を置いた図書館運営を評価する主体は、学生である。また、附属図書館が、上質の図書館サービスを提供する利用者来館型図書館・利用者参加型図書館を目指していることから、(1) 図書館の利用状況と(2) 図書館に対する満足度の2項目を図書館運営の評価指標とします。

学生の学習に関する実態調査（ラーニングライフ）又は学生生活実態調査（キャンパスライフ）において、(1) 図書館の利用状況と(2) 図書館に対する満足度を調査、分析、評価し附属図書館の運営に反映させていきます。

(平成26年3月14日附属図書館運営委員会決定)